

開校記念式典

開校記念式典では、東京理科大学理学部応用化学科の碓合先生が、講師としてお話し下さいました。詳しく調べてみると、碓合研究室では、有機合成化学や光化学などたくさんの方で研究が行われていたことが分かりました。また、碓合先生は数々の賞を受賞されています。中学生の私にはまだまだ難しく、理解するのに少し苦労しましたが、講話から研究の楽しさを知ることができました。中でも「失敗することはない。もし何か間違ったことがあってもそれは成功へ繋がる。」という言葉が心に響きました。

(二年)

四月十九日、僕たちの学校が百十二歳の誕生日を迎えたと共に開校記念式典が行われました。一年に一度のこの式典恒例の「開校記念日の歌」が歌われました。新入生にとっては、全校生徒全員が集まるのは今回の開校記念式典が三度目でしたが、校歌は覚えられましたか。

そしてOBの方の講演は、専門的で少し難しい内容でしたが、僕たちにとって身近な内容にも触れて頂き、とてもためになるものだったと思います。

(二年)

本校は今年度で百十二周年を迎え、碓合先生が記念の講演して下さいました。まだ中学生の私たちには難しい内容でしたが、

図などが用いられており、とても分かりやすい説明でした。私が一番印象に残ったのは、右手と左手では握手ができるのに対し、右手と左手ではできない、ということの説明でした。これは当たり前のことですが、今まで意識してこなかったことなので、改めて意識し、驚きました。とても貴重な体験になりました。

(二年)

今まで開校記念式典という行事に特別な思いを持ったことは特にありませんでした。しかし三年生となった今、改めて考えると、これまで深く考えることもなかったこの行事の素晴らしさに気が付きました。附属中学校が創立されたのは百十二年前のことです。その頃のことには想像しようにもまるで見当が付きません。校長先生は、

日露戦争で大本営が広島に移されたり、アインシュタインが相対性理論を発表した頃だとおっしゃっています。今回講演をして下さった碓合先生は、その分野では世界に知られているそうです。日本を代表する先生が自分たちの先輩であることを実感し、誇らしく思いました。開校記念式典は、先輩方が築き上げてこられた附属中学校の深い歴史に触れることのできる重要な機会です。まさに「おもへばうれし」ことではないでしょうか。

(三年)



遠足

一年生は、似島臨海少年自然の家へ研修に行きました。似島の豊かな自然環境の下で行ったカレー作りでは友達の新たな一面が見られ、また仲間と交流を深めることもできました。とても有意義な時間を過ごすことができたと思います。

しかし、フェリーなどの公共の場でのマナーが守れていなかったり、準備が不十分だったり、反省する点もありました。そこはこれからの生活で改善していきたいです。

今回の研修をスタート地点と考え、これからさらに飛躍できるように頑張りたいと思います。

(一年)



四月二十一日。使うだろうと思われていた雨具を一度も出すことなく、天候に恵まれた私たち二年生は、昆虫館に行きました。午前中は、昆虫館で様々な虫を観察しました。また、普段公開していない昆虫館の裏側も見せて頂きました。午後に行われた学年レクリエーションでは、充実した時間を過ごすことができました。特に、陣地鬼をした時。クラス対抗で行われたので、クラス内でも盛り上がりつつただけではなく、他のクラスの人も追いかけたので、一瞬

「誰？」となったのですが、その後はお互い笑顔になりました。今回の遠足では、クラスをこえて絆を深めることができたと思います。

(二年)



三年生は、山口県岩国市にある錦帯橋に行きました。錦帯橋は、見た目や全体像だけではなく、橋の裏側に見られる木組みもとても美しく、歴史を感じさせるものでした。橋を渡った後は山を登り、皆で広場で昼食を取りました。その後は各自での自由行動と

なりました。僕たちのグループは、護国神という神社に行きました。そこにたどり着くまでの道のりはとても長く、やる気のない参加者を追い払うためのものにも思えました。僕たち以外に護国神へ行った人はおらず、他の人たちは岩国城や石人形資料館などに行ったそうです。バスの出発前には、河原で水切りをしました。昔ながらの遊びですが、とても楽しむことができました。

(三年)

私たちは三年生は錦帯橋に着き、まずは皆で橋を渡り、岩国城を目指して山を登りました。山を登りきった後は、青空の下で楽しくお弁当を食べました。下山した後は自由行動となり、ソフトクリームを食べたり、お土産を見たりとそれ

ぞれが思いおもいに遠足を楽しみました。全国的にも有名なソフトクリームのお店には、百種類以上もの味があり、定番のものから納豆味やわさび味といった変わったものまでバラエティーに富んでいます。その後は河原で小石を投げて水切りをしました。普段なかなか体験できないことなどで新鮮でした。今回の遠足では、バスでのレクリエーションなどを通してクラスの仲が深まったと思います。これからの行事でも、クラスで団結し、たくさんのお話を乗り切りたいです。

(三年)



（あとがき）
附中新聞も第五号を迎えました。皆さんも新生活には慣れましたか。

四月にはたくさんの方の行事があり、忙しい人も多かったのではないかと思います。しかしそれらの行事は大切なものばかりでした。開校記念式典では、この附属中学校に受け継がれる長い伝統の重みを感じ、卒業生の方の講演からもたくさんのお話を学び、実り多いものになったのではないかと思います。遠足では、クラスだけではなく、学年の仲間の新たな一面を知り、絆がより一層深まったのではないのでしょうか。

これからの学校生活にも行事での数々の貴重な体験を忘れず、活かしていきたい、より良いものにしていきましょう。

(三年)